

# 2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年11月18日

物流事業が想定を上回る推移で通期業績予想を上方修正

I. 2022年3月期 第2四半期 実績 P. 3

II. 2022年3月期 通期計画 P.13

III. 第6次中期経営計画の進捗について P.18

IV. 旅行事業収益改善に向けての取組み P.26

---

# I .2022年3月期 第2四半期実績

---

# 2022年3月期 第2四半期 実績

## 期初計画を大きく上回る実績

(単位:百万円)

	21/3期 2Q 実績	22/3期2Q		期初計画比		前年同期比	
		期初 計画	実績	増減額	率	増減額	率
売上高	69,183	75,000	85,931	10,931	114.6%	16,748	124.2%
営業利益	△251	2,100	3,603	1,503	171.6%	3,854	—
経常利益	612	2,300	4,344	2,044	188.9%	3,732	709.8%
四半期 純利益	△155	1,400	2,364	964	168.9%	2,519	—

# 2022年3月期 第2四半期セグメント別実績

物流事業の営業利益は国内外ともに大幅増益、旅行事業も収益改善

(単位:百万円)

事業		21/3期2Q 実績	22/3期2Q 実績	前年同期比		
				増減額	率(%)	
売上高	物流事業	日本	46,206	53,982 (※59,159)	7,776	116.8%
		海外	20,840	30,085 (※31,129)	9,245	144.4%
	旅行事業	1,491	1,153 (※3,600)	△338	77.3%	
	不動産事業	645	710	65	110.1%	
	合計	69,183	85,931	16,748	124.2%	
営業利益	物流事業	日本	440	1,802	1,362	409.5%
		海外	301	2,045	1,744	679.4%
	旅行事業	△1,379	△646	733	—	
	不動産事業	378	392	14	103.7%	
	その他の	6	8	2	133.3%	
合計	△251	3,603	3,854	—		

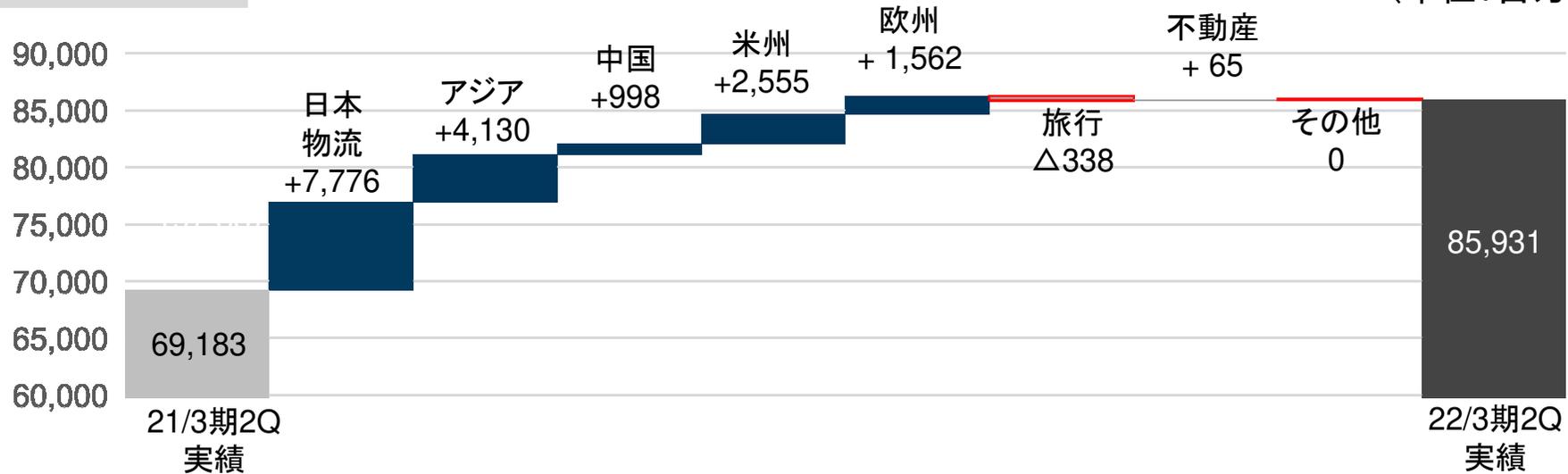
※『収益認識に関する会計基準』を適用しなかった場合の数値

数値は、各地域の業績を分かりやすく説明するための社内集計値

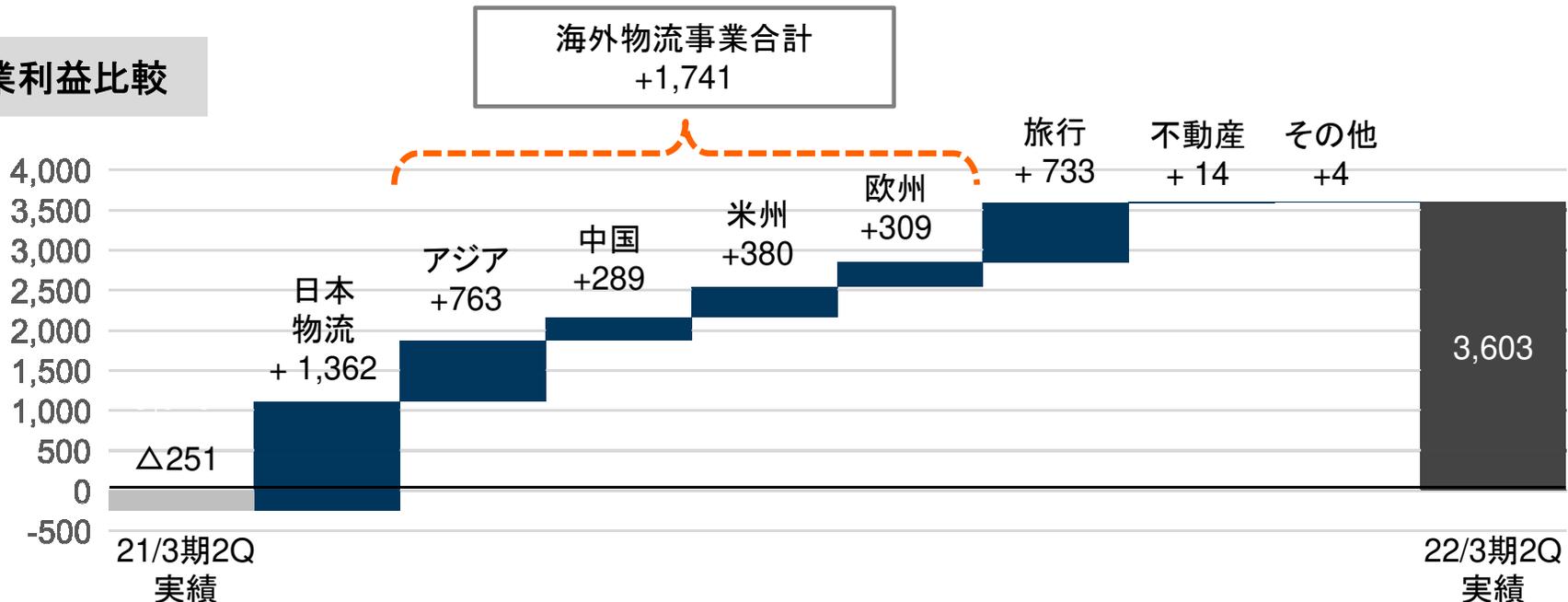
# 2022年3月期 第2四半期 セグメント別増減比較

## 売上高比較

(単位:百万円)



## 営業利益比較



# 四半期営業利益(セグメント別)推移

四半期ベースでも物流事業の好調維持、旅行事業は経費削減効果で改善

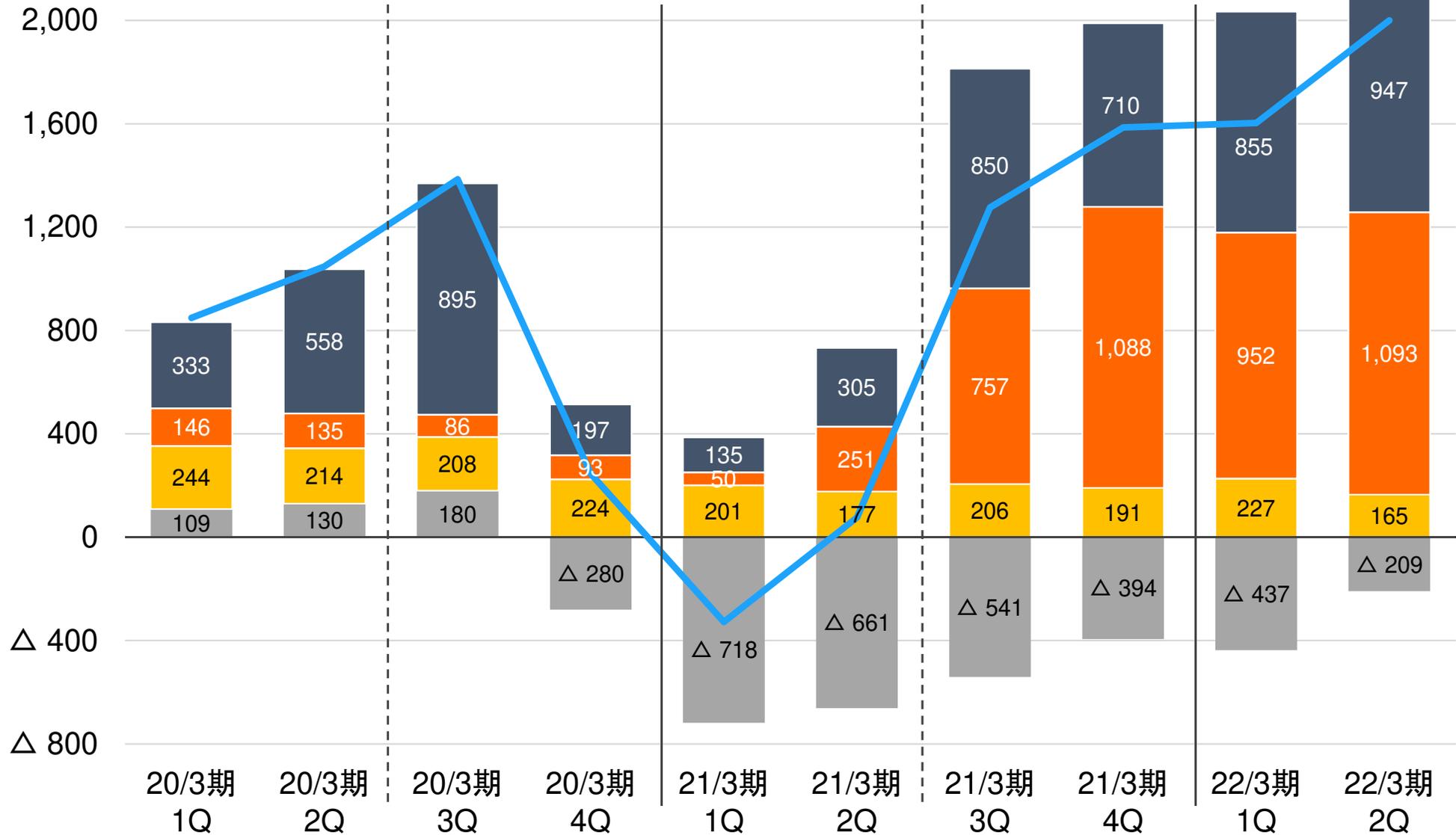
(単位:百万円)

事業		20/3期実績				21/3期実績				22/3期実績	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
		4 - 6月	7 - 9月	10 - 12月	1 - 3月	4 - 6月	7 - 9月	10 - 12月	1 - 3月	4 - 6月	7 - 9月
物流事業	日本	333	558	895	197	135	305	850	710	855	947
	海外	146	135	86	93	50	251	757	1,088	952	1,093
物流事業小計		479	693	981	290	185	557	1,607	1,799	1,807	2,041
旅行事業		109	130	180	△280	△718	△661	△541	△394	△437	△209
不動産事業		244	214	208	224	201	177	206	191	227	165
その他		17	11	16	12	3	3	3	△9	5	3
合計		849	1,048	1,385	246	△328	76	1,276	1,586	1,603	2,000

# 四半期営業利益(セグメント別)推移グラフ

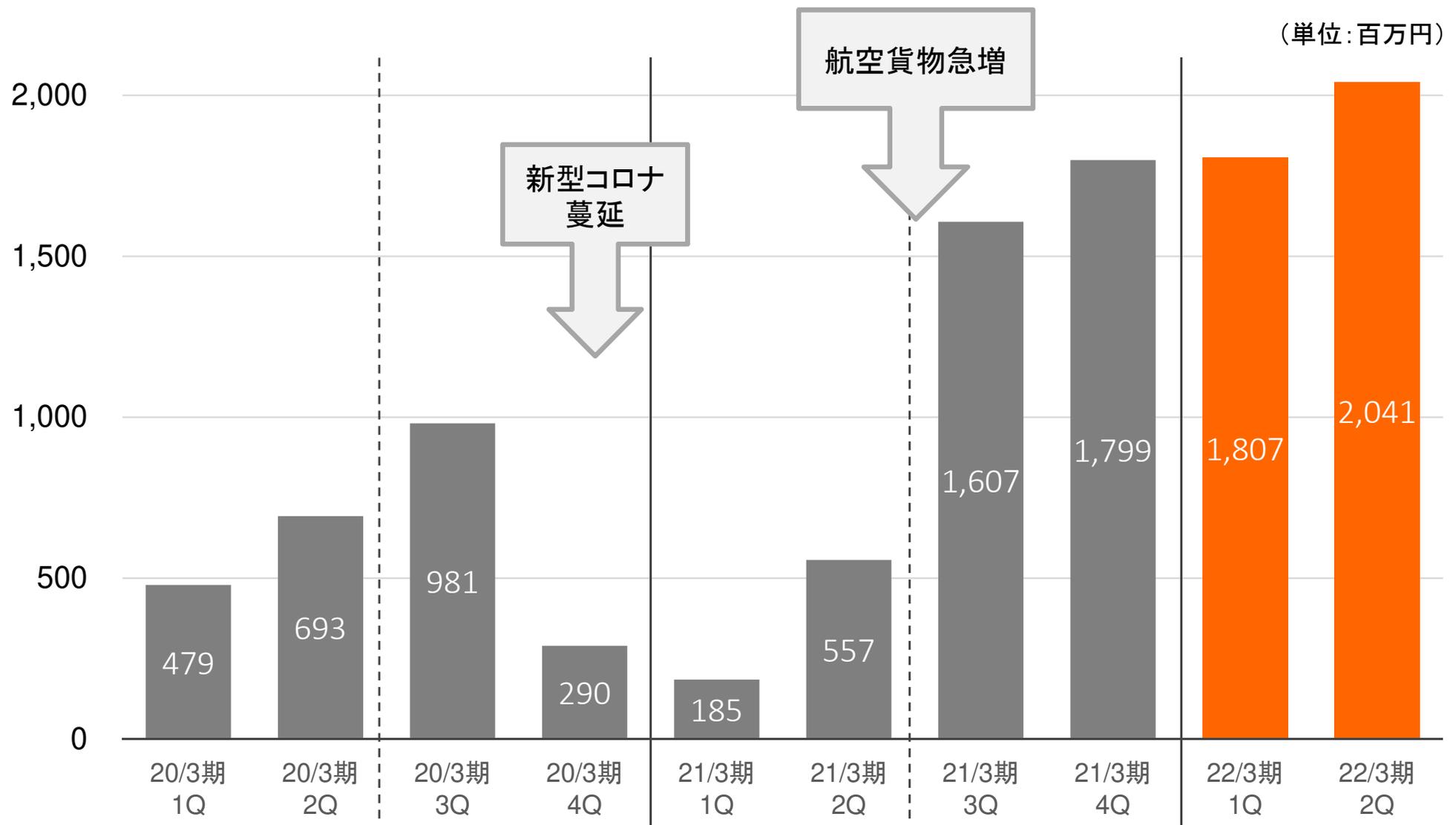
■ 旅行事業   
 ■ 不動産事業   
 ■ 物流(海外)   
 ■ 物流(日本)   
 — 営業利益合計

(単位:百万円)



# 四半期営業利益推移(物流事業のみ)

2021年3月期第3四半期より航空貨物急増



# 第2四半期実績 営業利益上方修正要因

各地域、海上、航空とも需給逼迫の中、輸送スペースを確保し取扱い増加

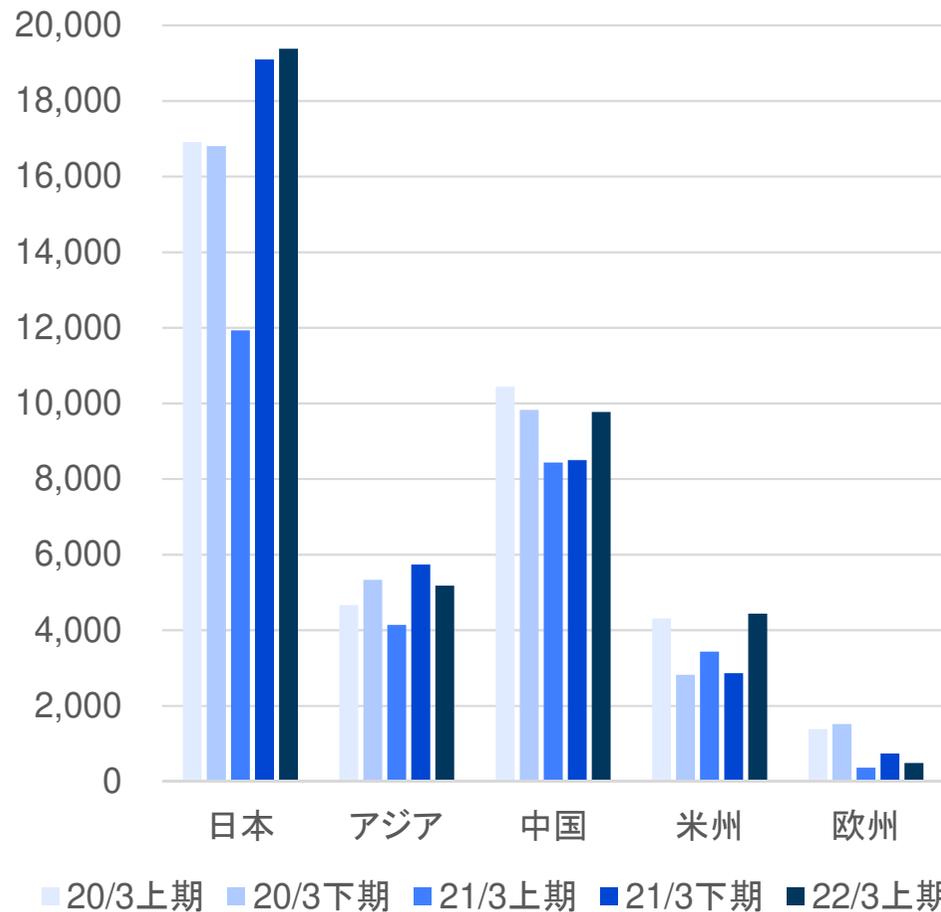
事業	地域	概況
物流	日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空輸出は海上輸送からの切り替え継続、自動車関連貨物の荷動きも好調に推移</li> <li>・海上輸出はコンテナ供給不足の中、スペース確保に努め、取扱い増加</li> </ul>
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連貨物の増加、航空需要好調</li> <li>・輸送スペース確保に努力、海上輸出取扱い増加</li> <li>・電子部品、家電製品の航空、海上輸出が好調に推移</li> </ul>
	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家電製品、電子部品の航空輸出が好調に推移</li> <li>・船会社、航空会社から輸送スペース確保に努力、輸出が増加</li> </ul>
事業	米州	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連貨物の航空輸出回復、港湾混雑による海上輸入貨物の代替輸送継続</li> <li>・家電製品の倉庫保管、国内配送業務も堅調に推移</li> <li>・食品関連で航空輸出、海上輸入が増加</li> </ul>
	欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家電製品の倉庫保管、国内配送堅調</li> <li>・自動車関連貨物の緊急航空輸出入が急増</li> <li>・主要取引先の自動車生産工場が閉鎖されたが、非日系企業との取引開始</li> </ul>
旅行事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費削減は順調に推移</li> <li>・一部海外旅行からのシフトもあり、国内旅行の取扱人数増加</li> </ul>
不動産事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事関連の監理業務増加</li> </ul>

# 半期毎 航空輸出・輸入 物量推移

海上コンテナ不足と米国西海岸の混乱による航空シフトの需要を着実に捉える

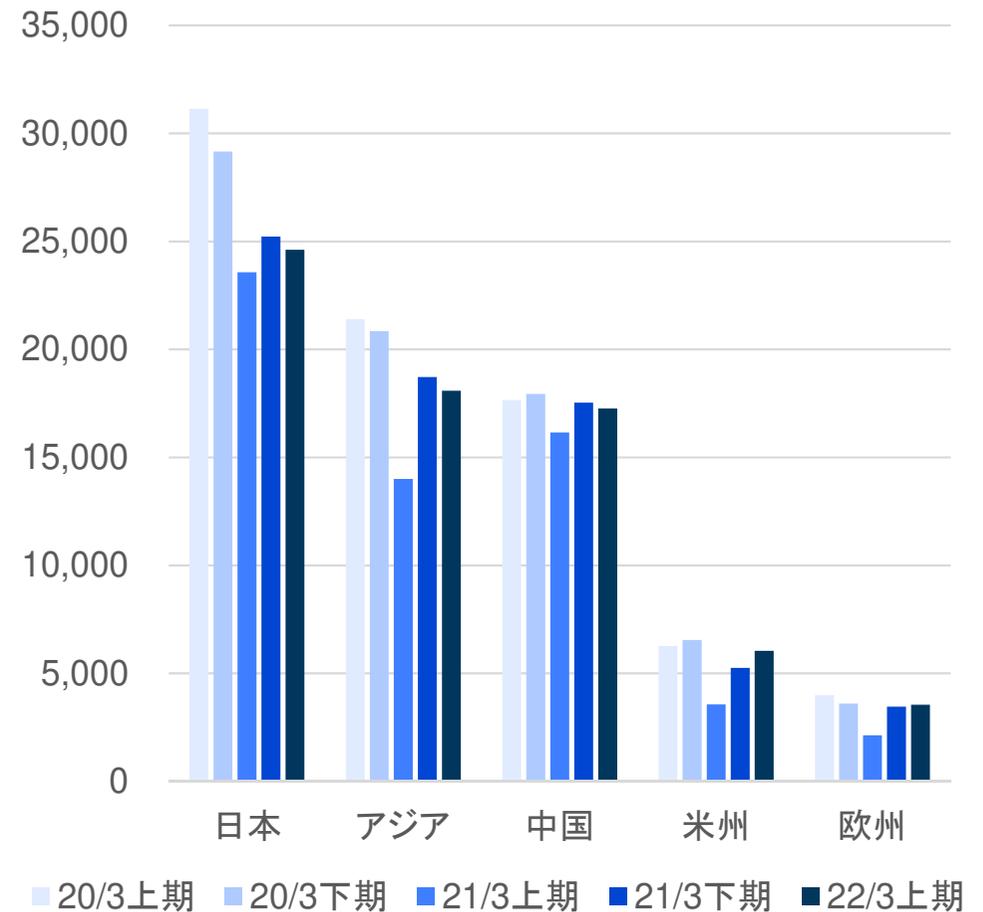
## 航空 輸出

(単位:トン)



## 航空 輸入

(単位:件)



# 半期毎 海上輸出・輸入 物量推移

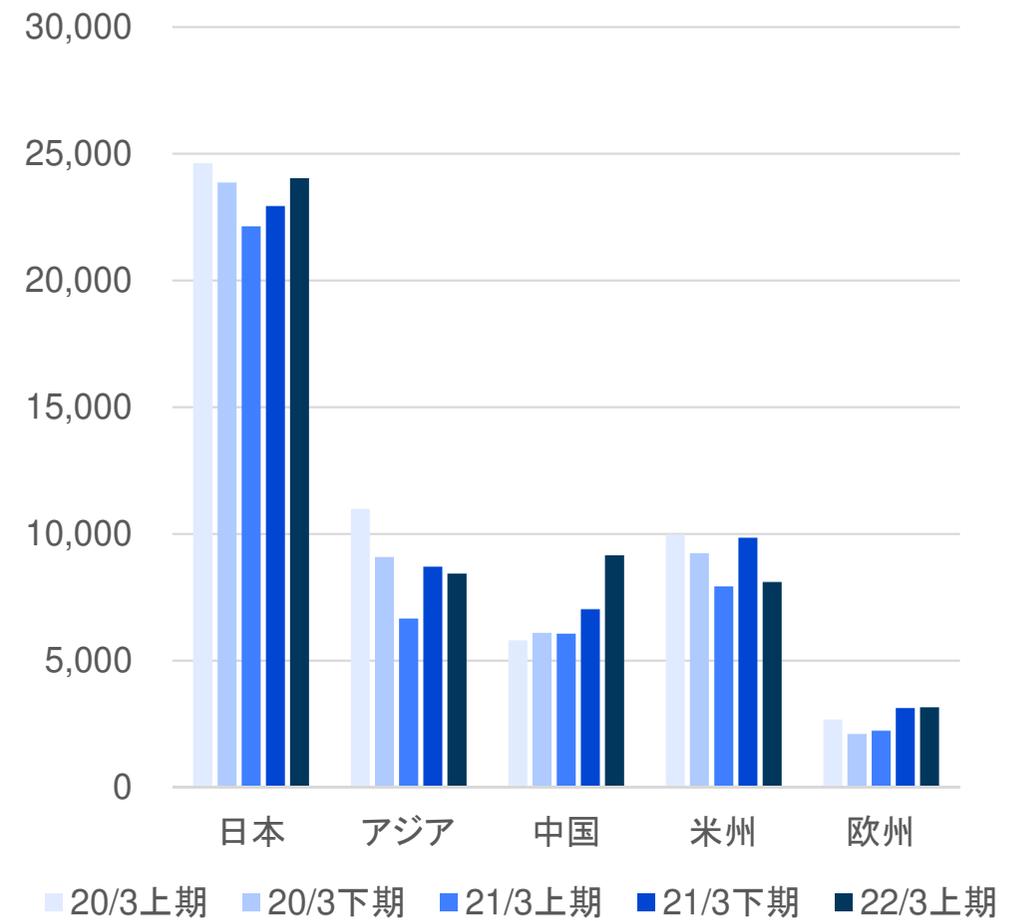
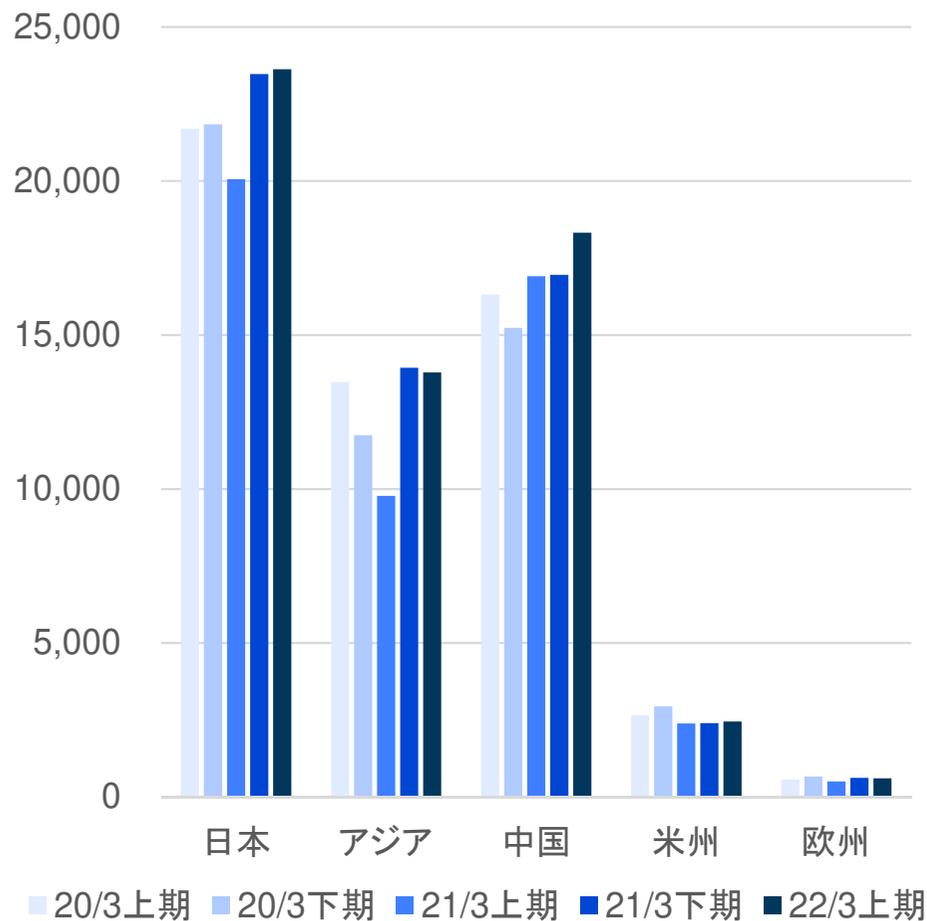
海上コンテナ不足による混乱のなかでもスペース確保

海上 輸出

(単位:TEU)

海上 輸入

(単位:TEU)



---

## Ⅱ .2022年3月期 通期計画

---

# 2022年3月期 通期計画

上期の業績が期初計画を上回り、基調は今後も継続見込みにより上方修正

(単位:百万円)

	21/3期	22/3期				前期比	
		通期実績	期初計画	修正計画	期初計画比		増減額
	増減額				率	増減額	
売上高	155,915	147,000 (※159,000)	153,000 (※169,300)	6,000	104.1%	△2,915	98.1%
営業利益	2,611	4,000	6,400	2,400	160.0%	3,789	245.1%
経常利益	4,287	4,500	7,300	2,800	162.2%	3,013	170.3%
当期純利益	2,007	2,700	4,900	2,200	181.5%	2,893	244.1%

※『収益認識に関する会計基準』を適用しなかった場合の数値

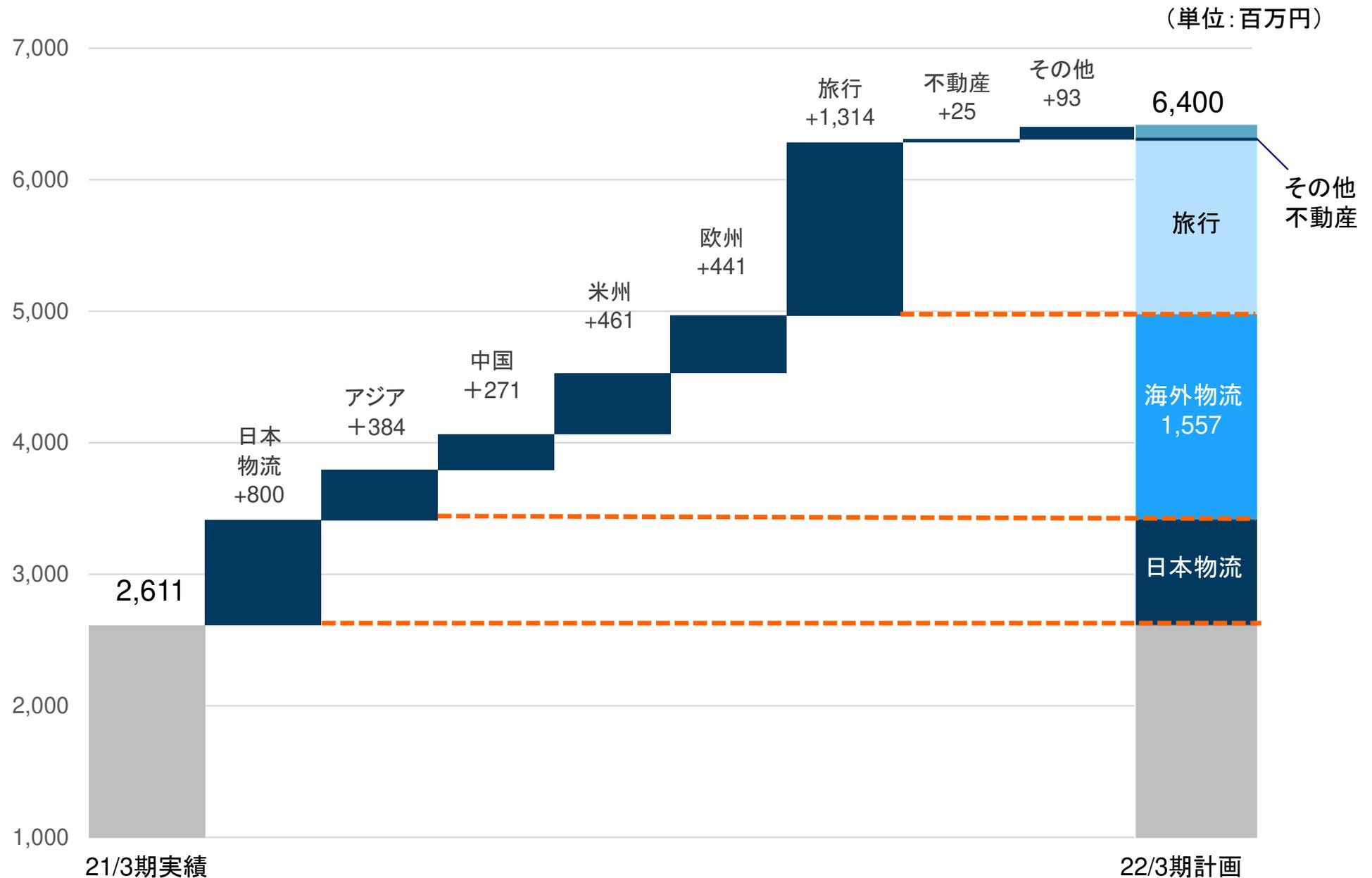
# 2022年3月期 セグメント別計画

(単位:百万円)

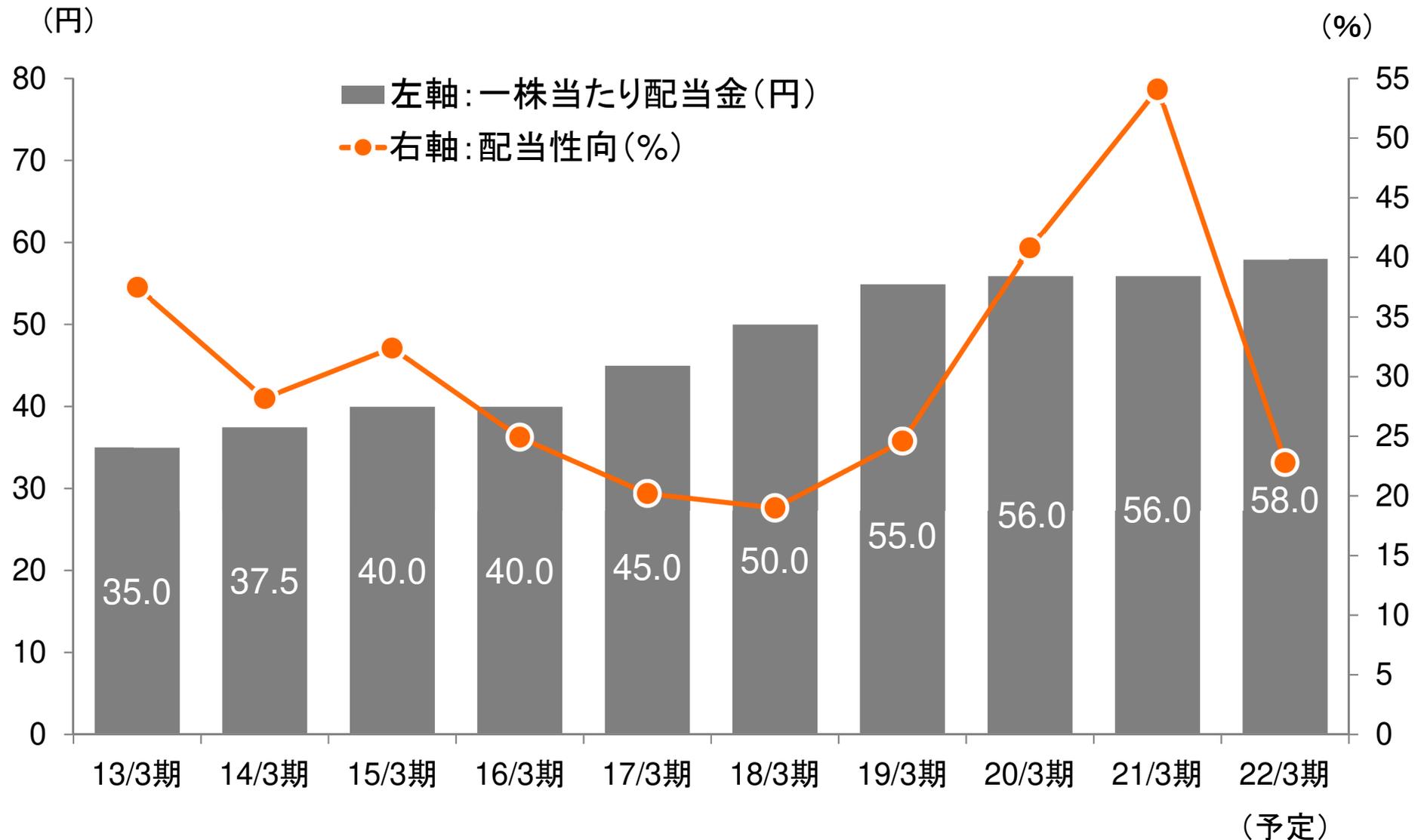
事業		21/3期	22/3期				前期比		
			通期実績	期初計画	修正計画	期初計画比			
		増減額				率	増減額	率	
売上高	物流業	日本	100,431	96,000	95,500	△500	99.5%	△4,931	95.1%
		海外	50,045	47,200	53,500	6,300	113.3%	3,455	106.9%
	旅行事業		4,194	2,600	2,500	△100	96.2%	△1,694	59.6%
	不動産事業		1,245	1,200	1,500	300	125.0%	255	120.5%
	合計		155,915	147,000	153,000	6,000	104.1%	△2,915	98.1%
営業利益	物流業	日本	2,001	1,983	2,800	817	141.2%	799	139.9%
		海外	2,148	2,020	3,700	1,680	183.2%	1,552	172.3%
	旅行事業		△2,315	△1,040	△1,000	40	—	1,315	—
	不動産事業		777	847	800	△47	94.5%	23	103.0%
	その他		0	190	100	△90	52.6%	100	—
	合計		2,611	4,000	6,400	2,400	160.0%	3,789	245.1%

※ 数値は、各地域の業績を分かりやすく説明するための社内集計値

# 2022年3月期通期 営業利益増減比較



2022年3月期通期配当は2円増配の58円(期末配当30円)を予定



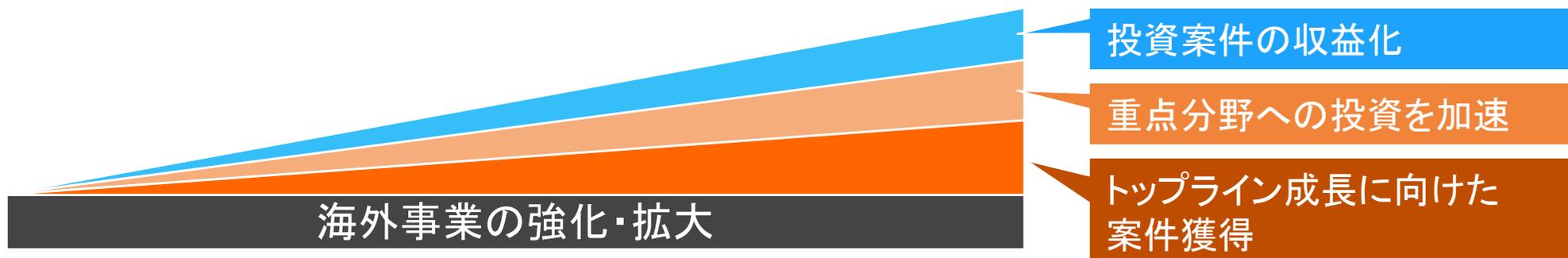
※ 2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、株式併合を考慮した金額を記載

---

## Ⅲ.第6次中期経営計画の進捗について

---

基本方針	「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー」 ~世界最高品質の物流企業への更なる進化~
期間	2017年4月~2022年3月(5年間)
重点施策	<ol style="list-style-type: none"><li>1.重点分野(自動車関連、化学品・危険品、食品物流)</li><li>2.国内事業の収益力向上<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物流施設の再編</li><li>・ 業務効率化の追求</li><li>・ 物流事業・旅行事業の連携強化</li><li>・ AIを活用した提案型営業の推進</li></ul></li><li>3.グループ経営基盤の強化<ul style="list-style-type: none"><li>・ ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底</li><li>・ 人材の確保と育成</li><li>・ 資金の効率化などの財務体質の強化</li></ul></li></ol>

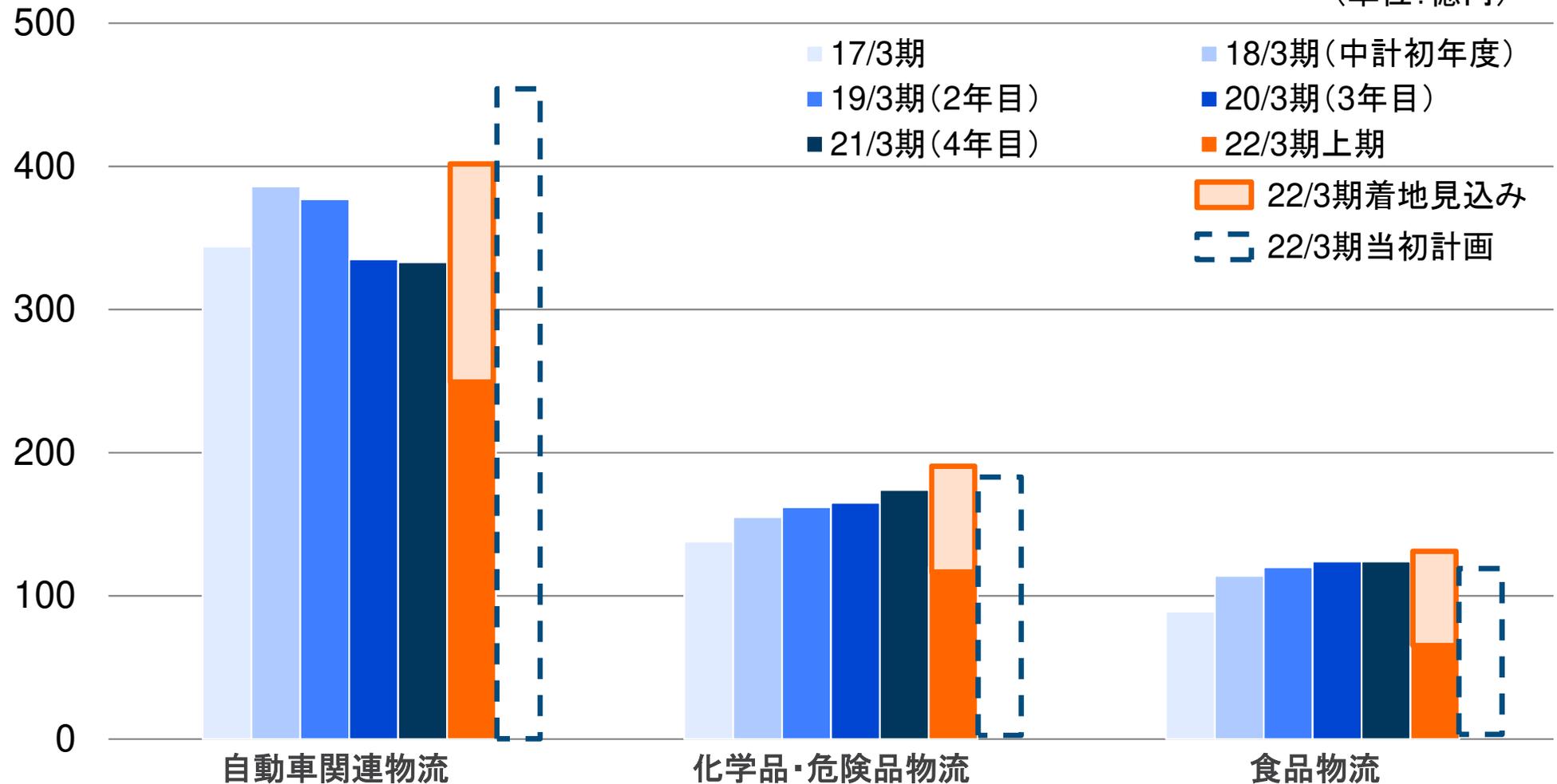


# 重点3分野への注力

化学品・危険品物流、食品物流は新型コロナウイルスの影響は少ない

### 重点3分野 売上高推移

(単位:億円)



※ グラフは社内集計値により作成

# 重点3分野への注力(エリア別戦略)

青字: 22/3上期実績

	自動車関連物流	化学品・危険品物流	食品物流
日本	栃木に自動車部品 倉庫用地購入	横浜地区危険品倉庫 建設準備	平和島冷蔵物流 センター稼働 摩耶西倉庫稼働
アジア	インド二輪車用倉庫拡張 タイ倉庫拡充	シンガポール化学品倉庫開設 インドネシア潤滑油全土配送	シンガポール ハラール認証取得
中国	深圳発欧州向け鉄道輸 送併用	危険品事業の拡充	食品物流網の構築
米州	デトロイト倉庫開設 ナッシュビル倉庫 年内開設予定	危険品事業への参入	米国、メキシコ発着 食品輸出入
欧州	非日系部品メーカーの 新規開拓	危険品事業への参入	ベルギー、フランス発 日本向輸出

# 設備投資の進捗状況

## 第6次中期経営計画の設備投資計画は順調な進捗

地域	投資計画額	実施投資額
日本	169	181
海外	61	17
IT	30	12
合計	260	210

(単位:億円)

青字: 22/3上期実績

緑字: 今後竣工予定

地域	案件名	営業開始	主要品目
日本	福岡市 九州日新アイランドシティ	2019年9月	一般貨物
	神戸市 摩耶西冷蔵倉庫	2020年2月	食品
	大田区 平和島冷蔵物流センター	2021年3月	食品
	横浜市 横浜重量物梱包センター	2021年7月	梱包・重量物
	横浜市 横浜地区危険品倉庫	2023年以降	危険物
	栃木県 宇都宮市近郊に倉庫建設	2024年以降	自動車部品
海外	マレーシア マラッカ倉庫	2018年3月	一般貨物
	米国 コロンバス倉庫	2018年3月	一般貨物
	タイ プラチンブリ倉庫	2019年1月	一般貨物

## 1 EV・FCV関連市場の開拓

- ◆ 次世代モビリティ関連の部品取扱倉庫建設用地取得(栃木県)

## 2 化学品・危険品、食品物流の国内外事業強化

- ◆ 平和島冷蔵物流センター貨物集荷強化
- ◆ 横浜地区危険品倉庫開設に向けた準備

## 3 物流施設再編による収益拡大

- ◆ 横浜重量物梱包センターへの重量貨物集約

## 4 新基幹システムの軌道化

- ◆ 新基幹システム稼働

## 5 DXへの積極的な取組み

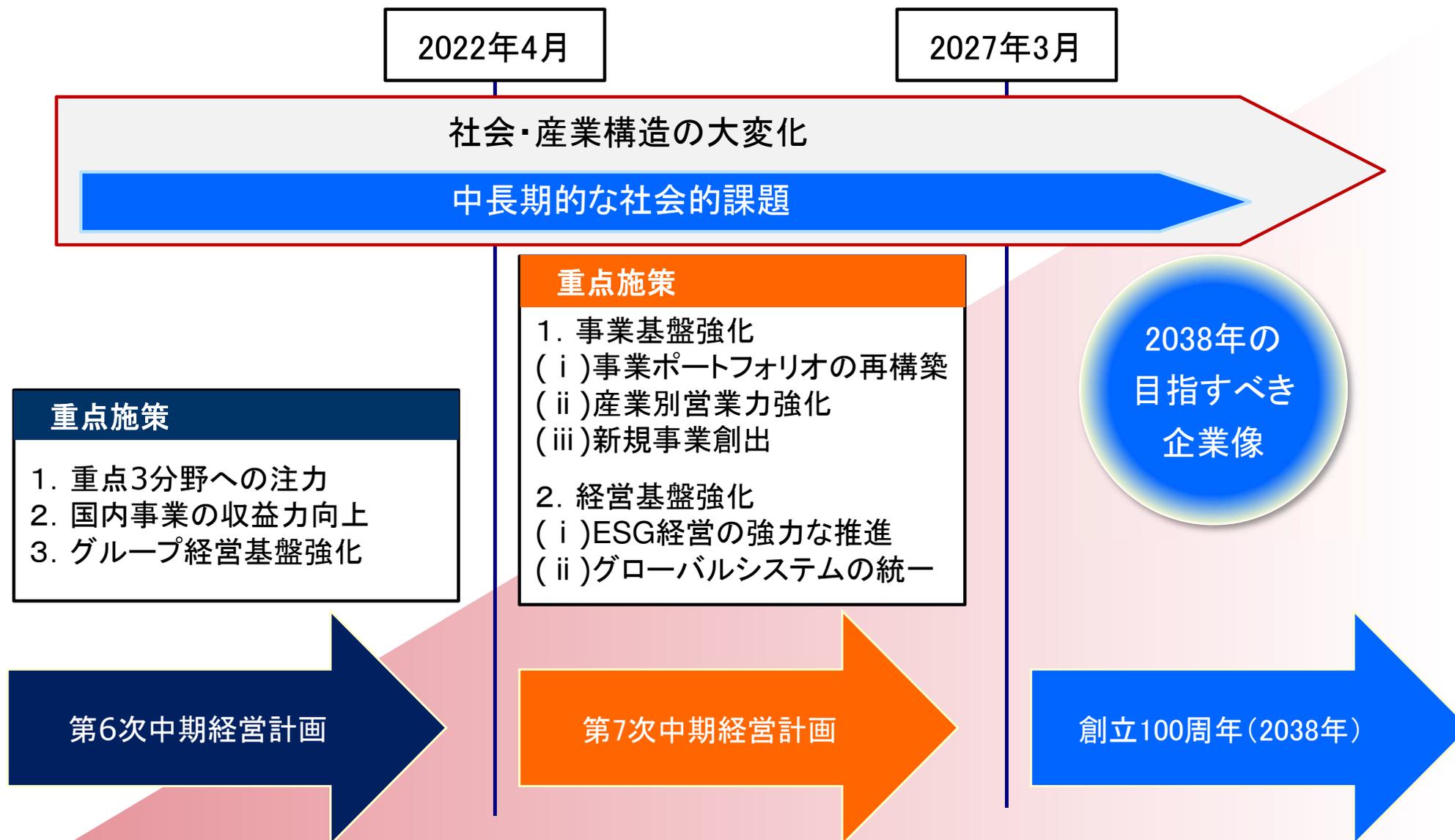
- ◆ 物流DX推進室を設置
- ◆ デジタルフォワーディングサービス「Forward One」開始
- ◆ 貿易プラットフォーム運営の「トレードワルツ」へ共同出資

## 6 グループ会社のガバナンス機能強化

- ◆ 米国日新 業務プロセス統制の対象に追加

# 第7次中期経営計画の考え方

## 外部環境変化に柔軟に対応できる強靱な事業構造の構築



## サステナビリティ基本方針を12月に発表

### 日新グループの持続的成長

### 持続可能な社会の実現



#### Environment

- ・ モーダルシフトの推進（鉄道コンテナ輸送、内航船）
- ・ 物流効率化（リターナブルケース・コンテナラウンドユース）
- ・ 環境対応施設（摩耶西自動冷凍倉庫、平和島冷蔵物流センター、各倉庫LED対応）
- ・ 事業者クラス分け評価制度（経産省）で優良事業者、6年連続Sクラス
- ・ 「森林再生パートナー」（神奈川県）として活動



#### Social

- ・ 英国現代奴隷法への対応
- ・ 人材育成カリキュラムの充実
- ・ 多様な働き方の導入
- ・ 人権尊重
- ・ ダイバーシティ



#### Governance

- ・ 女性取締役の登用
- ・ 指名・報酬委員会の設置
- ・ 事業継続マネジメント推進



## 企業行動憲章

---

## IV.旅行事業収益改善に向けての取組み

---

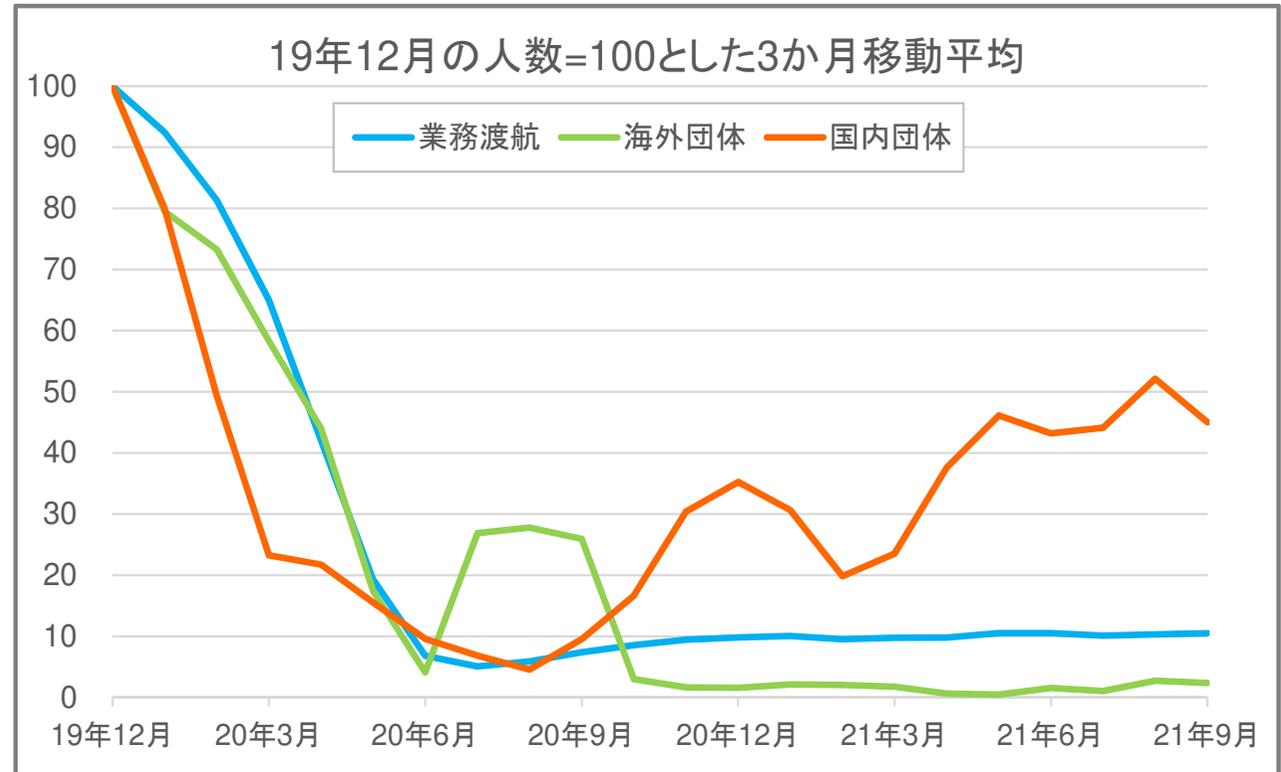
## 国内旅行の回復もあり一部出向を解除

### 20年度実施施策

- ・役員報酬減額
- ・従業員賞与減額
- ・従業員の日新への出向
- ・販管費削減

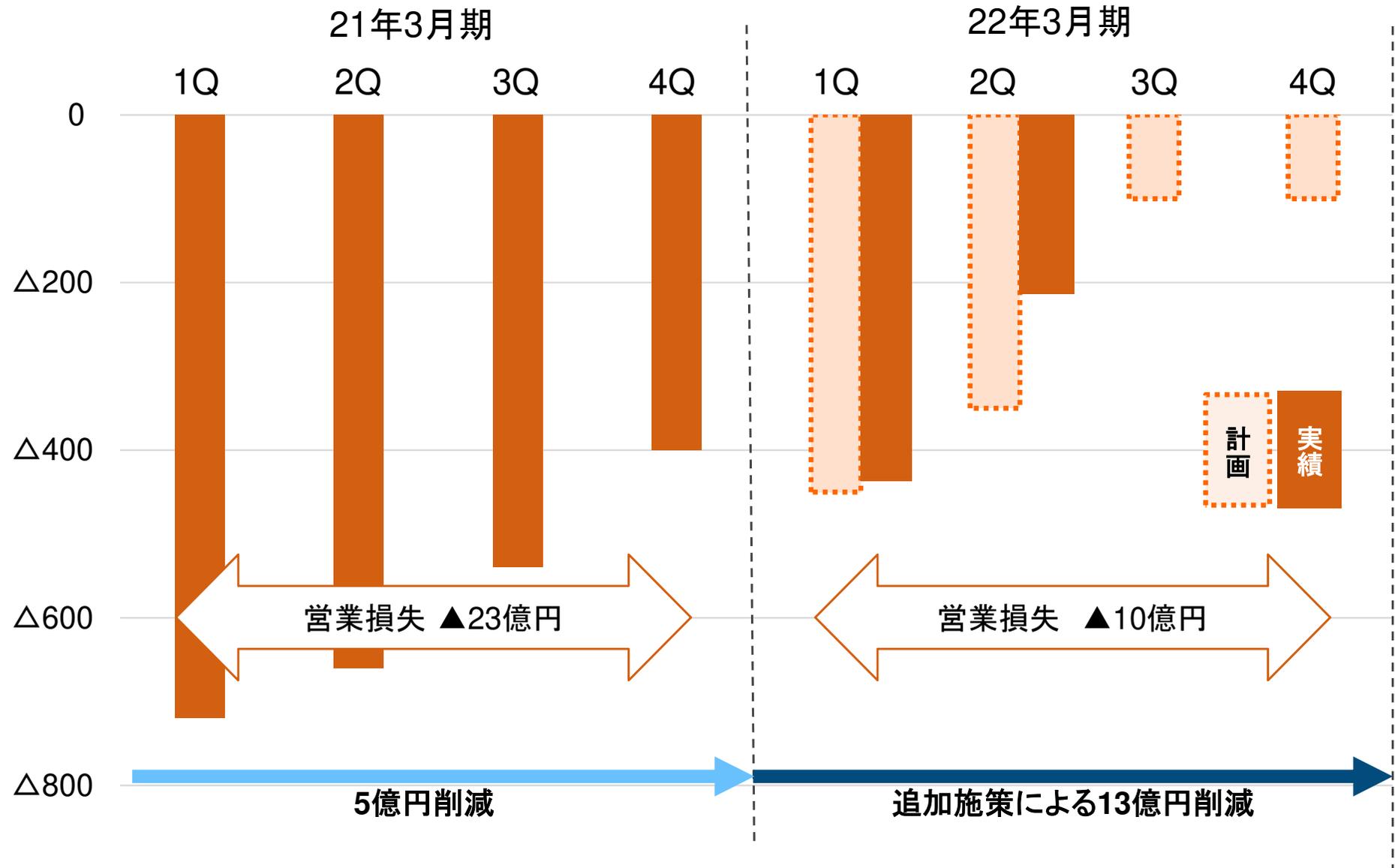
### 21年度実施施策

- ・日中平和観光事業統合
- ・人員削減(グループ内転籍、出向)  **業務量回復により一部出向解除**
- ・日新航空サービス東京本社の縮小
- ・日新航空サービス3首都圏支店を本社に統合、3地方支店を廃止



# 足元の動向②

## 13億円の収益改善に向けて順調に進捗



## 2022年3月期 第2四半期実績

期初計画を大きく上回る実績

## 2022年3月期通期計画

上期の業績が期初計画を上回り、基調は今後も継続見込みにより上方修正

## 第6次中期経営計画の進捗について

重点施策は順調に進捗し次期中計に向けて最終段階へ

## 旅行事業収益改善に向けての取組み

業務量の回復もあり一部出向を解除、収益改善に向け順調に回復

資料ならびにIRに関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社 日新  
経営企画部 広報・IR課  
TEL:03-3238-6555  
<https://www.nissin-tw.com>

※本資料は投資勧誘の目的のための資料ではございません。  
また、将来に亘る部分につきましては予想に基づくものであり、  
確約や保証を与えるものではありません。